



めざすは飛鳥の千年瓦

山本清一 / 著

著者は、14歳で「屋根屋」だった父に弟子入りし、東大寺や法隆寺など数多くの屋根の保存修理に携わってきた。

それまでの従弟制度では後継者が育たないと、自ら会社を立ち上げ、一方では飛鳥時代のよつな、千年経つても使われる瓦を目指した製造会社も立ち上げた。

普通の屋根でも瓦をふくのは一苦労。それが東大寺大仏殿の屋根となると、登るだけでも大変だと思つたら、「あそこは運動場みたいなもんやから、もし転んだかて途中で止まりますわ」。高い場所ほど緊張感があり事故は少ない。とも、長年文化財を守ってきた屋根職人の、瓦への情熱が奈良ことばで伝わる一冊。

日本語と中国語

劉徳有 / 著

日本はその昔、中国から大量の漢字を輸入し、中国もまた近代に入って日本から和製漢語を輸入しています。

普段使っている、経済・組織・生産・憲法・共和・知識・文法などの翻訳日本語は、中国古典から取っています。

音訳語では「倶楽部」は読めても「混泥土」をコンクリートと読めましたか？今でも中国で使われています。中国語で近代的なホテルは、「飯店」と書きますが、中華料理店を連想しませんか？

共通の漢字文化なので、理解している錯覚に陥ります。同じ文字でも意味が違うものもあります。漢字を通じて、両国のすれ違いがなぜ起きるのか考えてみませんか？



おすすめ絵本

「ねえ、だっこして」

竹下文子・文 / 田中清代・絵

「わたしこのころつまらないおかあさんのおひざにあかちゃんがいるから」

母子を見つめる猫の切ない気持ちに託して、弟や妹ができた幼児の気持ちが描かれ、胸がキュン。



七月のミニギャラリー

夏の自由研究おたすけ本展

例年、自由研究の優秀作を展示してきましたが、今年も取りやめました。その代わりに、今まで探しにくい、取り出しにくいと不便をお掛けしてきた自由研究の関連本を、ミニギャラリーコーナーに並べます。

ブックスタートが始まりました

赤ちゃんは、保護者の愛情をいっぱいもらい、「ことば」と「こころ」を育てていきます。絵本を通じて子どもと保護者との触れ合いの時間を作っていたらこうと、6カ月児教室で絵本を一冊プレゼント

赤ちゃんは、保護者の愛情をいっぱいもらい、「ことば」と「こころ」を育てていきます。絵本を通じて子どもと保護者との触れ合いの時間を作っていたらこうと、6カ月児教室で絵本を一冊プレゼント

新しく入った本ピックアップ

(5月1日～31日受入図書約450冊)

●小説・随筆など

- 葉霊島 上・下(内田康夫 / 著)
三日月が円くなるまで(宇江佐真理 / 著)
白き高峰の殺意(奥村誠一 / 著)
町長選挙(奥田英朗 / 著)
陽気なギャングの日常と襲撃(伊坂幸太郎 / 著)
背負い富士(山本一力 / 著)
私の『言志四録』(小島直記 / 著)
天のろくろ(アーシュラ・K.ル=グウィン / 著)
ダ・ヴィンチ物語 上・下(ドミトリー・メレシコフスキー / 著)

●そのほかの一般書

- 絵本屋の日曜日(落合恵子 / 著)
レッツ遠距離恋愛(キャロライン・タイガー / 著)
「君の名は」の民俗学(岩井宏實 / 著)
ムカッときたとき読む本(菊入みゆき / 著)
Dr. 半熟卵のつぶやき(須藤なほみ / 著)
美肌の花道(佐伯チズ / 著)
J R 西日本の大罪(鈴木ひろみ / 著)
モナ・リザの罫(西岡文彦 / 著)
いい会議 悪い会議x(樋口裕一 / 著)

●絵本・児童書

- 馬車でおつかいに(ウィリアム・スタイグ / 作)
おふるごっこ(きむらゆういち / 作)
ももんちゃんぼっぼー(とよたかずひこ / 作)
すがたをかえるしずくのふしぎ(七尾純 / 著)
地下室からのふしぎな旅(柏葉幸子 / 著)
ハリー・ポッターと謎のプリンス(J.K.ローリング / 作)

7月の休館日表

当初は11月開始の予定でしたが、6月から始めます。蔵書点検の休館日

医療情報トピックス

新しく赴任された医師を紹介します



おほまき 国保山岡診療所長

名古屋大学出身 (心臓血管外科、循環器科)

この4月から山岡診療所へ所長として赴任しております。田舎の診療所で地域医療に携わり、お年寄りの病気の治療ばかりでなく、約35年の医師経験を基礎に総合診療医として、予防のための健康管理や生活相談にあたるのが、私の医師としての最終目標であり希望でした。

山岡の診療所を含めた『健康プラザ』は、非常に立派な施設を兼ね備えており、私の目指していた地域医療の内容から勘案するには十分すぎるほどの地域の宝ですから、診療所や健康プラザのスタッフとともに有効に利用して、恵那市民の健康・医療・福祉に貢献していきたいと考えております。

私の好きな山里で、子どもからお年寄りの方まで親しくお付き合いしながら、余生を送れたら幸せと思っておりますので、家族ともどもよろしくお願いたします。特に心臓病や生活習慣病など、ご相談ください。

褥瘡(じょくそう)

褥瘡とは「床ずれ」のことをいいます。「褥」には布団という意味があり、「瘡」は「カサフタ」の「カサ」で、「キズ」という意味があります。なぜ、褥瘡ができるのでしょうか。

健康な人は、どんなに熟睡をし体重で皮膚の血流が途絶えても、痛みやしびれで無意識に寝返りをうつため、血行障害を起こすことはありません。

ところが、皮膚の知覚障害や、まひなどで運動ができないときなどに、2時間以上同じ部位の(圧迫)血流の途絶える状態が続くと、皮膚が壊されます。それが褥瘡です。

褥瘡の症状は？

圧迫された部位が赤くなり、水ぶくれ、びらん(粘膜の欠損)、ただれ、皮下組織まで浅く崩れます。さらに進行すると、筋肉、骨、関節にまで達する深いけいようが生じます。

褥瘡は、いったんできると予防するより何倍も人手と時間がかかります。ですから予防することが最も大切です。

予防方法は？

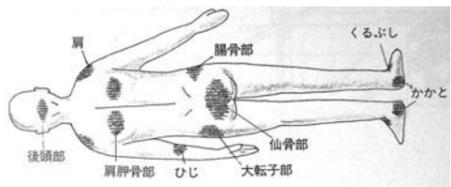
除圧(皮膚の圧迫を避けること) 体位変換や除圧用具の使用(体圧分散マット・30度枕など) スキンケア

皮膚の清潔を保つこと。(入浴・オムツ交換を頻繁に) 皮膚は傷つきやすいため、寝衣のしわに注意する。十分な栄養の補給をする

褥瘡処置は？

褥瘡部を水道水でよく洗い流す。(消毒はしない) 褥瘡部を乾燥させないようにフィルム状のものや、被覆材を使用して覆う。【フィルム

状のものを使用して浸し、浸し液(傷の表面からにじみ出る液体)が多い場合、フィルムに穴を開け、紙ガーゼを当てて浸出液を吸み込ませる方法】



褥瘡のできやすい場所

お知らせ

市立恵那病院では、褥瘡(じょくそう)を無くす・作らない看護・介護を目指し、知識を深める学習会を予定しています。

褥瘡について興味のある方、知識を深めたい方、家庭で介護をされている方、施設で介護をされている方など、お気軽にご参加ください。

期日 6月27日(火) 時間 午後5時半 場所 市立恵那病院「中央処置室」

問い合わせ 市立恵那病院 褥瘡対策チーム 専任看護師 遠山 26 2121(代)

